

# 会報 「ナイ・ポの夢」

東区苗穂連合町内会だより

## つきたてのお餅 美味しかったですね ふれあいもちつき大会が開かれました

平成28年12月4日(日)午前11時30分から苗穂・本町地区センターにおいて、苗穂連合町内会が主催する「ふれあいもちつき大会」が開かれました。このイベントは、地域住民の交流を深め、生き活きとしたまちづくりを進める目的で、平成13年から継続して開催しており、今回で16回目になります。

会場の地区センター体育室は、周囲に紅白幕が張られて賑やかな雰囲気にはれています。体育室前方には、子ども用の小さなうすを挟んで大きなうす2台が置かれ、青少年育成委員をはじめとする地域の方々や、応援に駆けつけてくださった陸上自衛隊苗穂分屯地の隊員の皆さん、来賓である木下淳嗣東区長や小学校の校長先生も代わる代わる杵を振るって、ホカホカのお餅をつきあげました。つきあがったお餅は、エプロン姿の連合町内会女性部や各種団体の



の方々が、手際よく雑煮やあん餅、きな粉餅などにして、集まった約300人の地域の皆さんに振る舞われました。普段はなかなか味わえないつきたてのお餅の食感に、皆さん大満足の様子でした。特に子どもたちは、日本の伝統的な文化である餅つきの様子を間近で眺め、また、自分で杵を振るって餅をついて、その感触と楽しい思い出に満ち足りた顔を見せていました。

皆さん、もちつき大会は今年も開催します。楽しみにしてくださいね。



東区苗穂連合町内会

発行責任者：八田力

事務所：東区苗穂町3丁目3-45

苗穂東まちづくりセンター内

TEL 742-4427

## 昔遊びと健康相談の会が開かれました

平成29年1月13日(金)午後1時30分から苗穂東交流センターにおいて、苗穂地区地域健康づくり運営委員会(岡千与の委員長)主催の「昔遊びと健康相談」の会が開かれました。この行事は、昔懐かしい百人一首やトランプなどのゲームを楽しむとともに、保健師さんによる健康相談などを通じて健康意識の向上を図ることを目的に、毎年、新春のこの時季に開催されています。この日は、体脂肪率や筋肉量などを計る「体組成計」、血管年齢などを計る「ボディチェッカー」などの機器も用意され、参加した約30人の皆さんは、東保健センターの職員の方々の指導で健康状態を入念にチェックしていました。

健康相談を終えた皆さんは、早速、この日のもう一つのお楽しみである百人一首で熱戦を繰り広げたり、顔見知りの方との四方山話に花を咲かせたりと、まだお正月から間もないこともあり、のどかに時間を過ごしていました。



## 民生委員・児童委員が改選されました



平成28年12月1日付で民生委員・児童委員が一斉改選され、同日午後1時30分から札幌全日空ホテルにおいて、東区民生委員・児童委員委嘱状伝達式が行われました。任期は、平成31年11月30日までの3年間です。民生委員・児童委員とは、厚生労働大臣から委嘱され、地域住民の立場に立って福祉に関する相談や支援、福祉サービスの情報提供などを行い、また、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や心配ごとの相談・支援などを行う、地域福祉の担い手として活動している方々です。



苗穂東地区の17人の民生委員・児童委員(2人の主任児童委員を含む。)も全員が伝達式に出席し、民生委員児童委員信条を朗読して、社会福祉の増進に果たす役割を改めて確認しました。

お住まいの地域を担当する民生委員・児童委員に関するお問い合わせは、東区保健福祉部保健福祉課(電話741-2459)か苗穂東まちづくりセンター(電話742-4427)までご連絡ください。

## 湯浅義昭さん 北海道社会貢献賞 を受賞

当連合町内会名誉顧問、苗穂第22町内会顧問の湯浅義昭さんが、平成28年度の北海道社会貢献賞(地域活動推進功労者)を受賞されました。同氏は、昭和61年度から平成23年度までの26年にわたって苗穂第22町内会会長として、また、平成8年度から23年度までの16年にわたって、当連合町内会会長として住民運動の推進にご尽力されました。

また、札幌市民生委員・児童委員協議会会長、東区社会福祉協議会理事、東区共同募金会会長など、地域の社会福祉活動の中心的な役割を果たされ、豊かな地域社会づくりに貢献されておられます。長きにわたるこれらの活動が高い評価を受け、この度の栄えある受賞となりました。心よりお喜び申し上げます。



## 開拓から続く鎮守の神様 瑞穂神社

江別・当別方面から続いてきた国道275号線が、JRの鉄橋を正面に見ながら中央区に入ろうとするあたりで、大きな鳥居が目に入ります。苗穂町16丁目にある瑞穂神社です。

明治の始まりとともにこの地の開拓に従事した人たちが、自分たちの手で小さな祠を建て日々の生活の安寧を願ったのが鎮座につながったと伝えられています。地域の有志の願いにより明治12年に三吉神社の御分霊をいただき、秋の祭典等を始めるきっかけとなりました。その後、明治27年に神社が完成し、翌28年に雁来神社として宗教法人の登記がなされました。昭和9年には現在の建物が新築され、今日に至っています。

昭和34年になり、現在の中央区苗穂地区の住民を雁来神社の氏子として編入する話が進み、この機に合せて社称を瑞穂神社に改称し、改名登記を行いました。「少彦名神(すくなひこなのかみ)」と「大己貴神(おおなむちのかみ)」の二柱を祭り、平成25年には鎮座120年を迎えました。







## 第15回子ども雪の祭典が開催されました

平成29年1月28日(土)に苗穂グリーン公園を会場に、第15回苗穂地区子ども雪の祭典が開催されました。この行事は、外で思いきり身体を動かして、寒い冬を元気に楽しく過ごしてもらおうと、苗穂連合町内会が地域の各種団体と協力して、平成15年から毎年開催しているイベントです。

当日は、朝からの雪にもかかわらず、開会式が始まる午前10時には、たくさん子どもと保護者の方が集まりました。八田力連合町内会長の主催者挨拶、津坂俊朗東区市民部長の来賓挨拶のあとラジオ体操で身体をほぐして、いよいよ競技が始まりました。



最初の競技は小中学生の「スノーフラッグ」、コースの途中で旗を取ってゴールを駆け抜けます。次は大人の「成人ボブスレー」、そりを引く人と乗る人の呼吸を合わせることが大切です。3番目は幼児の「宝探し」、雪の中から宝物(お菓子)を見つけて喜ぶ子どもの姿に、大人も嬉しくなりました。甘酒とココアで小休止のあとは後半戦です。

4番目の競技は小中学生の「子どもボブスレー」、5番目の小学生の「雪上水泳大会」は、そりに腹ばいになって手足を使って前進しますが、なかなか進まない子もいました。最後の競技、大人と子どもと一緒に参加する「絵字合わせ」で会場は大いに盛り上がり、雪の祭典はフィナーレを迎えました。降り続いた雪も気にならないほど、とても楽しい冬の日でした。

## 特殊詐欺にご注意を！地域安全活動推進委員が街頭啓発を実施

札幌市及び近郊で、オレオレ詐欺などの特殊詐欺が多発しています。このような詐欺の被害に遭わないよう注意喚起を図るため、平成28年12月15日(木)に苗穂地区地域安全活動推進委員(吉正男チーフリーダー)の皆さんが街頭啓発を行いました。この日は、2か月に1度の年金支給日です。苗穂郵便局前に集合した委員の皆さんは、のぼりを立て、道行く人々にティッシュとリーフレットを手渡ししながら「オレオレ詐欺や振り込め詐欺に気をつけて」と呼び掛けました。



北海道警察の発表では、平成27年中の道内の特殊詐欺認知件数は275件、被害総額は約9億3千万円にのぼるとのことです。平成27年全国地域安全運動公募標語の最優秀作品は「大丈夫 そう言うあなたが ターゲット」です。皆さん、自分は大丈夫と思わずに、十分にお気をつけください。

## 川東實さん 厚生労働大臣表彰 を受賞



平成28年11月11日(金)に「平成28年度社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰」が、東京のメルパルクホールで行われ、当連合町内会顧問、瑞穂町内会相談役の川東實さんが受賞の栄誉に輝きました。同氏は、昭和52年4月に苗穂連合町内会の推薦を受け札幌市東区共同募金委員会の理事に就任、以後、平成24年8月までの35年5か月の長きにわたって、同会理事として共同募金運動の発展に貢献されました。

また、この間、社団法人瑞穂会館の設立と運営にも関わられたほか、苗穂地区社会福祉協議会の副理事長を務めるなど、地域における社会福祉活動の充実にも尽力されました。

これまでのご功績に感謝し、心よりお祝いを申し上げます。

## 平成 29 年苗穂連合町内会新年交流会が開催されました

平成29年1月20日(金)午後6時30分から、苗穂・本町地区センターを会場に平成29年苗穂連合町内会新年交流会が開催されました。この日は、木下淳嗣東区長をはじめ、日ごろお世話になっている企業や学校関係の方々など多くの来賓をお迎えし、地域の皆さんと合せて約100人で新年を祝いました。

主催者を代表して八田力連合町内会長から「苗穂地区をより住みやすいまちにするため、関係団体との連携を一層強め、役員一丸となって取り組んでまいります。」と抱負が語られたあと宴に入り、参加された皆さんは、和やかな雰囲気の中で新年の挨拶や情報交換を行っていました。



## 社会福祉協議会の賛助会員加入にご協力を！！

苗穂地区社会福祉協議会では、就学前のお子さんと保護者のための「子育てサロン・ナイポ」の運営やお年寄りを対象とした「ふれあいお食事会」の開催、地域の皆さんの足として活躍している福祉バス「レインボー号」の運行など、苗穂地区の社会福祉の増進を図るための様々な活動をしています。そして、これらの活動を支える貴重な財源のひとつが、東区社会福祉協議会から交付される配分金です。平成28年度は、約100万円の配分金が交付されました。

この配分金は、東区社会福祉協議会の「賛助会員」加入実績に応じて地域に配分される仕組みになっています。ですから、賛助会員が増えればそれだけ配分金も多くなり、活動資金に充てることができます。

今年も、6月から地区社会福祉協議会の実働部隊である「苗穂東地区福祉のまち推進センター(通称：苗穂福祉ふれあいテッ 吉美智子運営委員長)」の方々から賛助会員加入のお願いに伺います。賛助会費は、個人が10千円から、法人は101万円からです。ご協力くださいますようお願い申し上げます。



**東区苗穂地区の話題がご覧になれます。**  
パソコン・スマホから「**苗穂東まちづくりセンター**」で検索してください。

### 【お知らせ】平成29年度の主な行事の予定

- 8月 5日(土)・6日(日) **ザ・レインボーサマーフェスティバル (苗穂グリーン公園)**
- 8月 27日(日) **ふれあい運動会 (苗穂グリーン公園)**
- 12月 3日(日) **ふれあいもちつき大会(苗穂・本町地区センター)**
- 30年1月 27日(土) **子ども雪の祭典(苗穂グリーン公園)**